

【大間町】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めようとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

- (1) 児童生徒自身が ICT を学びのツールとして自由な発想で適切に活用できるようにし、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を育成する。
- (2) ICT の特性を最大限に活用して、誰 1 人取り残すことなくきめ細かな支援をし、個々の才能を伸ばすための高度な学びの機会や多様な学びの機会の充実を目指す。
- (3) 児童生徒が自他の権利を尊重し、情報社会での行動に責任を持つことで、情報を正しく安全に利用できるよう、情報モラルの向上と情報セキュリティ意識の醸成を図るとともに、デジタル技術の活用を通して、社会に積極的に関与し、参加する能力の習得を目指す。

2. GIGA 第 1 期の総括

GIGA スクール構想の下、国庫補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、1 人 1 台端末やポケット Wi-Fi、大型提示装置等の整備を行い、学校における ICT 環境の充実を図ってきた。

学習端末については、令和 2 年度に国庫補助金（公立学校情報機器整備費補助金）を活用し、1 人 1 台端末の整備を完了した。

令和 3 年度から本格運用を開始し、令和 5 年度より更なる利活用促進を図る為、管内市町村の状況等確認し連絡ツールや授業支援ツール、デジタルドリルなどの各種ソフトウェアの導入を進めている。

授業等での利活用が増加すると共に、通信量の増加によってネットワークが不安定になる頻度が急増し、授業に支障が出るなど影響が出始めてきていることから、既存環境の再整備が急務と考えられる。

GIGA 第 2 期では、ネットワーク環境の見直しや整備を主軸に、引き続きソフトウェアの導入を進めながら個別最適な学びの充実に向け取り組む事が重要である。

3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末については、公教育の必須ツールとしての役割を踏まえ、計画的な維持・更新に取り組む。さらに、学校の通信環境については、授業等で多くの児童生徒が1人1台端末を一斉接続しても安定的に利用できる通信環境の確保に努め、児童生徒及び教職員の意欲を阻害することなく、新たな学びへの挑戦を支援する事とする。

授業支援や学習支援の素材として質の高い多様なデジタル教材やソフトウェア、サービスの活用を推進し、児童生徒が主体的に学習に取り組み、才能を伸ばす個別最適な学びに繋げていく。